

# 令和元年度北栄町高校生議会会議録

令和2年1月15日（水曜日）

## 議事日程

令和2年1月15日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

## 出席議員（10名）

1番 堀本龍治君	3番 井坂涼君	4番 前田万璃君
5番 井上華恋君	6番 武智玲穂奈君	7番 深田健太君
8番 中口達哉君	9番 千石颯正君	10番 谷田百々花君
12番 中原彩貴君		

## 欠席議員（2名）

2番 福山緩千君	11番 三谷佑奈君
----------	-----------

## 議長（1名）

議長 北尾風馬君

## 北栄町議会事務局出席職員職氏名

事務局長	磯江恵子君	主幹	福田香織君
事務補佐員	長谷川利恵君		

## 説明のため出席した者の職氏名

町長	松本昭夫君	副町長	手嶋俊樹君
教育長	別本勝美君	総務課長	磯江昭徳君
企画財政課長	小澤靖君	住民生活課長	藤江純子君
福祉課長	田中英伸君	産業振興課長	手嶋寿征君
観光交流課長	松本裕実君	生涯学習課長	杉本裕史君

---

午前9時20分 高校生議会開会式

○事務局長（磯江 恵子君） 皆さんおはようございます。定刻になりましたので、高校生議会の開会式を行います。

はじめに、北栄町議会議長 前田栄治がごあいさついたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（前田 栄治君） 皆さんおはようございます。高校生議会が開催されるにあたり一言ごあいさつを申し上げたいと思います。今日まで、高校生議員の皆さんは「地域探究の時間」を通していろいろなことを学んでこられました。鳥取中央育英高校の地域探究の取り組みは少子高齢化を迎えている時代にあって、若い人たちの意見を取り入れることができる北栄町にとってとても大きな取り組みであり、今後も継続をしていっていただくことを望んでいます。私も、いつも町長、教育長に質問するときは緊張するんですけども、慣れないことで緊張されると思います。町長、教育長に堂々と質問して、できればその場では焦らず再質問等もしていただけたらと思います。先輩たちの質問により、役場と線路の間の通路に街灯ができたり、町の図書館の車庫がオープンギャラリーになったという前例もあります。高校生議員の皆さんにも予算化、事業化されるような答弁を引き出していただけたらと思っています。最後になりますが、今日までに準備やご指導いただいた学校や行政、議会の関係者の方々にお礼を申し上げ、皆さんにとって有意義な1日となることをご祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。

○事務局長（磯江 恵子君） 続きまして、北栄町長 松本昭夫がごあいさついたします。

北栄町長あいさつ

○町長（松本 昭夫君） 皆さんおはようございます。今日は、6回目になると思いますが、鳥取中央育英の皆さんの高校生議会ということで開催させていただきました。先ほど議長からありましたように「地域探究の時間」ということでそれぞれの地域の特性なり、あるいはどうやったらこの地域が活性化するかというようなことを勉強していただいて、その中で、今日こうやって議会で質問されるということでもあります。ぜひ、思いのたけを述べていただいて、我々もその行政に参画しているのだという気持ちをもって頑張っていただきたいなと思います。

18歳から選挙権が付与されることになりました。皆さん方は今2年生ですのでまだないと思いますが、来年になると選挙ということになると思います。やはり若い方が今なかなか政治のほうに関わっていただけていないということも問題になっています。そして、若い方が動く世の中が動いてくるということもありますので、ぜひ、これを経験していただいて18歳以上になって選挙権が与えられたら、政治にも大いに興味を持っていただいて、この地域を、そして世の中を、どうやったら幸せに暮らせるかということを考えていただければありがたいかなと思います。そしてこの高校生議会がその一つの機会になると思いますので、ぜひこれを機会にこれからの自分の人生においてどういう世の中をつくっていくのがいいのか、どういう世の中になっていったら幸せに暮らせるのかということを考えていただきますようお願いいたします。ごあいさつにかえさせていただきます。どうか頑張ってください。

○事務局長（磯江 恵子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 宍戸靖雄校長にごあいさつをお願いします。

## 鳥取中央育英高等学校長あいさつ

○**校長（宍戸 靖雄君）** 皆様おはようございます。鳥取中央育英高校の校長の宍戸でございます。学校を代表しまして、一言ごあいさつ並びにお礼を申し上げたいと思います。本日、令和元年度北栄町高校生議会を開催するにあたりまして、貴重な時間を割いていただきまして、松本北栄町長様、北栄町役場の方、また、北栄町議会議員の皆様本当に御世話になり開催できることをうれしく思います。また、これまで本当にお忙しい中、高校生の指導・助言にあたっていただきました北栄町議会議員の皆様には重ねましてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

本校は、6年前に北栄町と「地域探究の時間」の推進にあたりまして協約を結びました。そして皆さんの協力をいただいて6年目ということになりました。そして、この高校生議会もその地域探究の取り組みの一環として推進してきまして、地元にある高校として地域の課題を深く探究して課題解決を図る活動として取り組んでまいりました。

また、先ほど松本町長様からありましたように、選挙年齢が18歳以上となったことに伴い、主権者教育の一環としても次世代を担う高校生が地元北栄町の町政、町議会への関心を高めることを目的に開催させていただいてきました。

これまでも質問させていただいた内容については町政に取り入れていただいたり、継続して考えていただいております。取り組んできたことに真剣に対応していただいていることに感謝を申し上げます。未熟な部分もあり若い高校生の意見ということで、簡単に片づけてしまいがちなことでも真剣に耳を傾け、北栄町の課題解決のヒントがあるのではないかとといった柔軟な対応をしていただいている皆さんの姿勢に、北栄町が発展している要因があるのではないかと感じるところであります。

今、鳥取県は人口減少・少子化が進む中ではありますが、この影響により令和8年には大規模な高校再編が行われようとしています。廃校、合併の危機は本校も例外ではありませんが、その中で、本校は東伯郡にある唯一の高等学校として、また北栄町の学校として、必要とされる高等学校でなければならないと考えています。今後、本校がそのような学校として存在していくためにも、本校が行っている地域探究活動やこの高校生議会など、北栄町としっかりタッグを組んでお互いに発展させる、そういう関係を保っていくことが大切なことだと考えています。地域崩壊が叫ばれる現代社会において、高等学校の果たすべき役割は大きいものであると考えています。若者である高校生が、地域の魅力や課題を発信していく機会でもあるこの高校生議会が、この地域の活性化につながっていけば大変意義深いものであると考えています。

本日は、この高校生議会が実のある充実した時間となりますことを願い、また、北栄町のさらなる発展を祈念いたしまして、学校を代表してのあいさつ並びにお礼といたします。本日はよろしく申し上げます。

○**事務局長（磯江 恵子君）** ありがとうございます。それでは、これより高校生議会の本会議をはじめます。

### 北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○**町議会議長（前田 栄治君）** 高校生議会の開会にあたり、議長として、北尾風馬議員を指名します。

---

## 午前9時30分開会

- 議長（北尾 風馬君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校2年の北尾風馬です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
- 議長（北尾 風馬君） それでは会議をはじめます。ただいまの出席議員は11人です。定足数に達していますので、これより令和元年度北栄町高校生議会を開会します。
- なお、2番、福山緩千議員、11番、三谷佑奈議員から欠席届が提出されています。
- 直ちに本日の会議を開きます。
- 本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。
- 

### 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（北尾 風馬君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1番、堀本龍治議員、3番、井坂涼議員を指名します。
- 

### 日程第2 会期の決定

- 議長（北尾 風馬君） 日程第2、会期の決定を議題とします。
- お諮りします。高校生議会の会期は、本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。
- 〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕
- 議長（北尾 風馬君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定しました。
- 

### 日程第3 諸般の報告

- 議長（北尾 風馬君） 日程第3、諸般の報告をします。
- 本会議の出席者は、お手元に配布の資料のとおりです。
- 

### 日程第4 一般質問

- 議長（北尾 風馬君） 日程第4、一般質問を行います。
- 届け出順により順次質問を許します。
- 1番、堀本龍治議員。
- 議員（1番 堀本 龍治君） 1番、堀本龍治です。コナンに特化した展示館について、町長にお聞きします。
- 多くのコナンファンが北栄町に訪れている中で、青山剛昌ふるさと館とコナンに特化した建物2種類をつくれれば、もっとたくさんの方が来てくれると思います。現在建っている青山剛昌ふるさと館は、青山先生とコナンの両方についての展示館となっていると思います。しかし僕たちの探究では、観光客の多くはコナン目当ての方が多く、また、米花商店街のところの

広場に建てかえ事業が考えられていることを知りました。

そこで、既存のふるさと館は青山剛昌先生に特化した展示館に、新設の建物をつくってもらい新設の展示館をつくってコナンに特化した展示館にと、棲み分けをはっきりさせてはどうでしょう。以上で終わります。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 堀本議員のご質問にお答えいたします。

コナンに特化した展示館をつくってはどうかについてのご質問でございます。

現在の青山剛昌ふるさと館は、青山先生の少年時代の思い出の品をはじめ先生のルーツを展示するとともに、名探偵コナンの原画や作品に登場する発明品やトリックなども展示しております。近年の名探偵コナン人気にも支えられ入館者も加速度的にふえており、昨年度1年間で16万人を超える入館者数を記録しました。昨年8月に実施した入館者アンケートにおいても、名探偵コナンが好きなことを理由に約4割の方が入館されていることが調査結果で示されており、コナンを目当てに入館される方が多いことは堀本議員のご指摘のとおりでございます。

出合いの広場への青山剛昌ふるさと館の移転新築については、平成30年2月に町内8団体から北栄町議会に請願書が提出され、同年9月定例会において請願が採択となっております。これを受けて、町では昨年6月に青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会を設置して、現在のふるさと館の課題の洗い出しや類似施設の視察研修などを通して、今後のふるさと館のあり方を検討していただいております。検討委員会から町へ提出される提言を待って、今後のふるさと館のあり方について判断したいと考えているところであります。

仮に、青山剛昌ふるさと館を新設するとしても、規模等によりどういった施設としていくのかということも変わりますし、現在のふるさと館をどう活用していくのかも課題となりますので、堀本議員ご提案の既存のふるさと館を青山先生に特化した展示館、新設の展示館を名探偵コナンに特化した展示館とすることは、一つの案として参考にさせていただきたいと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 堀本議員。

○議員（1番 堀本 龍治君） 観光客をふやしたいという思いから、先ほどの質問をさせていただきました。

そこで、観光客の方々に実際にインタビューをして得た答えなのですが、「青山剛昌ふるさと館までの道の途中が何もなくおもしろくない」や「休憩するスペースが少ない」などいろいろな不満がでてきました。

そこで、宿泊施設を建ててみたり、飲食店をつくってみたりということはどうでしょうか。検討をお願いします。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） インタビューをされたということですが、大変ありがたく思っております。道の途中に何もなく長い道のりの中大変だということもありますし、休憩のスペースが少ないということもあります。何とかそういう場所をつくりたいということで、休憩のスペースを一つはつくっているのですが、なかなか農業振興地域の中で難しい面があつてできないところでありますが、そういう中であつて、ホテルとか飲食店をつくってはどうか

ということではありますが、ホテルについても以前からずっとそういう声もあったところであり  
ます。現在、あるところでそういうホテルをとということで話しはさせていただいているところ  
であります。そういうホテル業者が進出してくれば本当にありがたいかなと思っているところ  
であります。飲食店についても、米花商店街ができたわけではありますがまだまだ不足してい  
ると思いますので、今、町としてはこの由良地区に特化して、進出してくる企業さんに助成をし  
て出やすいような体制を取っているところでもありますので、そういう方が出ていただければま  
た支援をしてにぎやかにしてまいりたいなと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 堀本議員。

○議員（1番 堀本 龍治君） ありがとうございます。以上で僕の質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、堀本議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議員（1番 堀本 龍治君） 引き続き、2番、福山緩千議員の質問を代読します。

○議長（北尾 風馬君） 1番、堀本議員。

○議員（1番 堀本 龍治君） 2番、福山緩千議員の質問を代読します。大栄西瓜の品種改良を  
再度推進してはについて町長にお聞きします。

僕たち農業グループは、今回の探究活動にて、収入がよりふえるようスイカの品種改良につ  
いて話し合ってきました。再度、種なしスイカの開発にトライしてみてもはどうでしょうか。昨  
今の科学技術の進歩によって過去の成果物以上のスイカが誕生するのではないのでしょうか。

また、その改良の途中経過についてもSNSで情報発信していくことによって、今まで以上  
にスイカの産地北栄町をアピールできるのではないのでしょうか。

大栄西瓜の品種改良について、現状はどのようになっていますか。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 福山議員のご質問にお答えします。

大栄西瓜の品種改良を再度推進してはどうかとのご質問です。

まず、大栄西瓜の品種改良についての現状につきましては、近年の気象状況や大栄西瓜とし  
ての特性である「大玉・完熟」等を踏まえ、スイカ専門の種苗業者と連携のもと大栄西瓜組合  
協議会が地域内で試験栽培した品種を栽培しております。専門の種苗業者にお願いすること  
により、産地条件に適合する品種の特性と栽培の基本を追求し試験・研究した、より優れた品種  
の育成が可能となっているところであります。

次に、種なしスイカの作成にトライしてみてもどうかとのご提案につきましては、大栄西瓜  
は昨年6月14日、地域で長年育まれた生産方法で高い品質・評価を得ている農林水産物などの  
ブランドを守る、国の「地理的表示（G I）保護制度」に登録されました。その中で大栄西瓜の  
特性や生産方法まで細かく登録しておりますので、それに合致した品種がありましたら検討も  
可能ではないかと思っておりますので、そういったご提案については大栄西瓜組合協議会にお話しさ  
せていただきますが、現状では難しいのではないかと考えております。

次に、品種改良の途中経過についてもSNSで情報発信することで、産地としてアピールが  
できるのではとのご提案につきましては、品種改良を行っている状況にありませんのでそのこ

とについての情報発信はできないと考えております。しかしながら、SNS等で情報発信することによる産地のアピールは大変よいことだと考えております。実際に大栄西瓜組合協議会では、スイカの宣伝だけでなく栽培の状況等についてフェイスブックを活用し情報発信しておりますし、大栄西瓜の生産者である「すいかのたねこ」さんは、ラジオ投稿やツイッターを活用し、北栄町や大栄西瓜について情報発信されています。ぜひ議員もフォローしていただき、大栄西瓜や北栄町の情報発信にご協力いただきますようお願いしたいと思います。

○議長（北尾 風馬君） 堀本議員。

○議員（1番 堀本 龍治君） 以上で終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、福山議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 3番、井坂涼議員。

○議員（3番 井坂 涼君） 3番、井坂涼です。僕は海岸に漂着するごみについて考えるセミナーについて町長にお聞きします。

地域探究活動で北栄町の海岸に漂着するごみを調べたところ、海外の漂流ごみ、マイクロプラスチックごみの存在を知りました。北栄町は身近に海岸があり、海岸の漂着ごみについてタイムリーに知ることが出来ます。

そこで、専門の方をお呼びして海岸の漂着ごみについての勉強会を行い、町民の方々が環境問題に関心を持ち、環境にやさしいまちを作り上げていってはどうでしょうか。風力発電に代表される環境エネルギー開発の先進地としての評価との相乗効果で、より一層PRにつながると思います。実際に、僕もこれまで環境について考えたことはありませんでしたが、この活動を通じて考えるようになりました。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 井坂議員のご質問にお答えいたします。

海岸に漂着するごみについて考えるセミナーについてのご質問でございます。

地域探究の時間で北栄町の海岸漂着ごみについて学び、それに対する問題意識を持ったことでのご提案ということで、井坂議員自身が環境問題に関心を持っていただいたことを大変うれしく思っております。また、昨年は皆さんの先輩議員から、海岸清掃イベントの開催についてもご提案いただきましたので、地域の美しい海、自然を守りたいという高校生議員のお考えに触れ、未来を担う皆様を頼もしく思うところであります。

海洋ごみの問題については地球規模の大きな問題となっており、釣り糸や漁網など海で使う道具のほか、ペットボトルやレジ袋といった日常生活で使うものも多く海に排出され、海洋生物や沿岸の居住環境に影響を及ぼしているところであります。近年では、海洋中のマイクロプラスチックと呼ばれる大きさ5mm以下の微細なプラスチックごみについても、生態系に影響を及ぼすことが懸念されております。

町では、年3回、海岸近くの16の自治会の皆さんによる海岸清掃の実施や、海岸を訪れる観光客や各種団体の方がボランティアで清掃活動をしていただくなど、地域の海岸の快適な環境づくりにご協力をいただいているところでございます。

昨年9月には、ほくほくプラザが主催する「おもしろゴミひろった選手権 海岸清掃をしよう」では、参加した小学生の子どもたちに、海洋ごみが環境や景観だけでなく海洋生物にも悪影響を与えている現状についてお話し、海洋ごみ問題について関心を持ってもらったところです。

また、海洋ごみ発生元となる不法投棄の防止に関する取り組みや、ペットボトル等の再資源化、分別収集の徹底のための環境出前講座等により、環境問題に対する周知啓発に取り組んでいるところでございます。

海岸漂着ごみ問題について専門家を招いたセミナーを開催してはどうかというご提案ですが、町民の皆様をはじめさまざまな方に海岸漂着ごみの実態・原因・影響等を知っていただき、地域の環境を守るための意識啓発につながるよい取り組みだと思います。ふるさとの海や砂浜を守り、さらには地球環境の保全への意識を高めていただくため、まずは町民の皆様に対してより身近な自治会向けの環境出前講座や環境推進委員会の場で、海洋ごみ問題のお話をさせていただくところから始め、さらには専門家の方を招いたセミナー開催等についても検討してみたいと思います。

また町では、先月12月、議会において「北栄町気候非常事態宣言」を宣言し、気候変動対策に強く取り組んでいくことを宣言したところでございます。宣言には「4Rの徹底」についても記載しており、海洋ごみの発生原因ともなりますプラスチックごみの発生抑制にも取り組んでまいります。

さらに町では、環境省が実施している「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加しています。このキャンペーンは海洋プラスチックごみによる環境汚染の問題解決に向けて、個人・企業・団体・行政を問わず、それぞれの立場でできる取り組みを行い、その取り組みを応援し、広げていくことを目的としたものであります。全国にはこのキャンペーンに参加している高校もあるようですので、ぜひご参加いただき公・民・学そして地域が一体となって環境問題に取り組んでいけるようにご協力をいただきたいと思います。

○議長（北尾 風馬君） 井坂議員。

○議員（3番 井坂 涼君） 身近な海岸をもっときれいにするために、議員、高校生合同で海岸掃除をしてみてもどうでしょうか。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 高校生、議員さんと一緒にということですので、議会のほうにお話をさせていただきたいなと思いますし、また、それだけでなく町民の方であったりあるいは行政も一緒になってそういうことをしていけば、さらに意識が高まり、そして海岸もきれいになっていくのではないかと思いますので、ぜひ検討していきたいと思います。

○議長（北尾 風馬君） 井坂議員。

○議員（3番 井坂 涼君） 以上で終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、井坂議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 4番、前田万璃議員。



○議員（4番 前田 万璃君） 4番、前田万璃です。僕は、町内各自治会で、体を動かすレクリエーション教室を定期的開催してはについて町長に質問します。

探究学習で、実際に六尾自治会のレクリエーション教室で、元学校の音楽の先生が歌を歌って、それに合わせて立ったり座ったり、腕や足におもりを付けて上げたりする体験をしました。レクリエーション後に、足腰が悪くて支えがないと歩けなかった方が支えなしで歩けるようになったりと、運動機能が向上したという話を多く聞きました。すでにやっているところもあるようですが、この取り組みを町内全ての自治会で定期的実施してはどうか。

育英高校の生徒も、特に介護職を目指すような生徒はボランティアで参加すると思います。また、育英高校に限らず中部地区の高校生に、学校で渡されるお便りやポスターで呼びかければ、高校生にとってもよい職業選択の勉強になると思います。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 前田議員のご質問にお答えいたします。

町内各自治会で、体を動かすレクリエーション的な教室を定期的開催してはどうかについてのご質問でございます。

前田議員が地域探究の時間にご覧になったのは、現在、町の地域包括支援センターで、各自治会での実施を進めております「こけないからだ体操」でございます。このこけないからだ体操は、童謡を歌いながらゆっくりと体を動かす誰にでもできる簡単なものですが、続けることで筋力がつき、ちょっとした段差でも転びにくくなるものであります。

いつまでも元気で、住み慣れた地域で生活していただくため、平成22年度より継続して実施しているものでございます。そのため平成27年度には、育英高校の体育コースの皆さんに実演モデルになって出演いただいた「こけないからだ体操DVD」を作成し、全ての自治会に配布させていただきました。

現在、町内の28の自治会で実施していただいておりますが、町といたしましても、議員のおっしゃるとおりさらに多くの自治会で実施が進むように、毎年、自治会長会等で実施への取り組みをお願いしており、今後も引き続きお願いをしていきたいと考えております。

また、高校生へボランティアの参加を呼びかけてはどうかのご意見でございますが、各自治会で実施していただいておりますこけないからだ体操は、平日の昼間に開催されていることや実施主体である自治会での受け入れのこともあり、高校生の方のボランティア参加を広く呼びかけることは難しいと思いますが、夏休み期間などに希望されれば地域包括支援センター職員とともに、こけないからだ体操や介護予防教室に参加できるように考えていきたいと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 前田議員。

○議員（4番 前田 万璃君） あと六尾の自治会で言われていたことですが、1人で使えるおもりに限りがあるのですが、70代、80代の方から、もうこのおもりには慣れてしまったから本当はもう少しおもりをつけたいという声がありました。だから、道具など自治会に支援してさらに活性化させてもらいたいと思っておりますのでどうか。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 慣れてしまっってちょっと物足りないということですので、またそれぞれの自治会に聞き取りをして、もう少し重たいのが必要だということであればそういう

ものを作ってまた自治会のほうに配布してまいりたいと思います。

○議長（北尾 風馬君） 前田議員。

○議員（4番 前田 万璃君） 以上です。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、前田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 5番、井上華恋議員。

○議員（5番 井上 華恋君） 5番、井上華恋です。北栄町のSNSの発信方法について町長にお聞きします。

北栄町に観光客として来訪するのは、日本人よりも外国人のほうが圧倒的に多いように感じます。その中でもアジア圏が特に多いので、日本語と英語だけでなく韓国語や中国語などのアジア圏言語を使って情報発信することを提案します。もちろん、タグ付けの部分もいろいろな言語を使って、外国の方が投稿を探しやすくするのはどうでしょうか。

北栄町のインスタグラムを見たところ、行事の投稿が多かったように感じました。北栄町の魅力は、都会にはない自然豊かなところや食べ物がおいしいところなども上げられます。また、外国の方だけでなく日本の方にも行きたいと思ってもらえるような宣伝が必要だと思います。

そこで、上記を満たすようなPR動画を作って発信するのはどうでしょうか。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 井上議員のご質問にお答えいたします。

北栄町のSNSの発信方法についてのご質問でございます。

先ほど外国人のほうが圧倒的に多いということでもございましたが、日本人のほうが圧倒的に多いところでございまして、外国人は1割から2割の間ということでもございます。

そういたしますと答弁いたしますが、はじめに、日本語と英語だけでなく韓国語や中国語などのアジア圏言語を使って情報発信してはとのご提案でございます。議員ご提案のとおり、多くの言語を使って情報発信をすれば、それだけ多くの国の方に情報が伝わり、いい提案であると理解しているところであります。昨年4月より英語の話せる職員を企画財政課に配置し、これまでより英語を活用して町のホームページやフェイスブック、ユーチューブ、インスタグラムなどで情報発信に取り組んでまいっております。ご提案の韓国語や中国語についてはそれらを話したり翻訳できる職員がおりませんので、タイムリーな韓国語や中国語による情報発信は難しいものと考えているところですが、今後検討してまいりたいと思います。

次に、北栄町のPR動画を作って発信してはとのご提案でございますが、これまでも北栄町の特産品である大栄西瓜やナガイモの収穫作業の様子、北栄町の食材を使用した料理作りを動画にしたり、コナン駅やコナン通りを散策しながらコナン通りの楽しさをPRしたり、町内のおいしいカフェなどを動画でPRしてきました。また、最近では北栄町の海岸での夜明けの様子やタンチョウの飛来を紹介した動画を作成し、北栄町の自然、食べ物、観光面などの魅力を積極的に発信してまいりました。

次に、育英高校の生徒さんも動画に参加したいとのご提案でございます。昨年元号が令和に変わり、その元号を育英高校書道部の皆さんにご協力いただき「令和」の文字を書く様子を町

のSNSで紹介させていただきました。新しい時代の幕開けにふさわしい若さあふれるパフォーマンスで、見ていて楽しい動画となりました。この時は役場から高校へ撮影の依頼を行いました。今後は高校生の皆さんからこんな動画を作成したいとのご提案をいただき、町が作成を支援していくようなスタイルにできると、若い皆さんのアイデアでおもしろいPR動画ができるのではないかと思います。町と一緒にPR動画ができることを楽しみにしているところでもあります。

○議長（北尾 風馬君） 井上議員。

○議員（5番 井上 華恋君） インスタグラムの投稿で終わった行事ばかり投稿してあったので、行事の予定をいろいろな言語で投稿して集客するのはどうでしょうか。もう一度お聞きします。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） その都度予告は出しておりますが、やはりあらかじめ分かっていることは、そういう年間を通しての行事の予告というのも大変すばらしいアイデアだと思いますのでぜひ検討させていただきたいと思います。

○議長（北尾 風馬君） 井上議員。

○議員（5番 井上 華恋君） 以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、井上議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 6番、武智玲穂奈議員。

○議員（6番 武智 玲穂奈君） 6番、武智玲穂奈です。北栄町と育英高校が共同で使用できる電子掲示板の設置について町長に質問します。

育英高校は大きな道から中に入っているため、校内玄関に懸垂幕等を掲示してもなかなかPR効果が高まりません。そこで、役場の前に共同で使用できる電子掲示板を作ってほしいと思います。具体的には部活動の成績や、学祭などのイベント予告、北栄町内で行われる各種催しの宣伝などを流したらよいと思います。

役場前は交差点で、信号待ちの車がよく見えます。絶対にいい宣伝になると思います。私たち高校生の頑張りがどんどん流れてタイムリーに更新されていけば、町民の方々も、私も頑張ろうという気持ちになって町が元気になるのではないのでしょうか。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 武智議員のご質問にお答えいたします。

北栄町と鳥取中央育英高校が共同で使用できる電子掲示板についてのご質問でございます。

町といたしましては、庁舎の北側、玄関の上部になりますが、ここに懸垂幕を設置できる箇所がありますので、今のところ電子掲示板の必要性は感じていないところであります。また、電子掲示板は設置費が非常に高額ですし、さらに維持費も必要となりますので、共同設置という提案をいただきましたが、町の限られた予算では実現は難しいというふうに感じているところであります。

なお、議員ご指摘のように鳥取中央育英高校の玄関の掲示では、優秀な成績で上部大会等に

出場する生徒の活躍を町民の皆さんに知っていただくことはなかなか難しいと思います。町では、庁舎に掲示がない場合は鳥取中央育英高校にお貸しすることも可能ですし、高校入口の県道に面した駐車場のフェンスも横断幕でしたら設置が可能ですのでご相談いただければと思っていますところでもあります。

○議長（北尾 風馬君） 武智議員。

○議員（6番 武智 玲穂奈君） 北栄町は風力発電で潤っていると、昨年の地域探究の報告で聞きました。どうですか、もう一度お聞きします。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 風力発電である程度収入があるわけではありますが、そちらのほうは環境の関係であつたりとか、あるいは学校関係のほうに使わせていただいているところでもあります。この電子掲示板ですが、鳥取中央育英高校は県立でございますし、町は町ということでございまして、共同で設置するということになれば県の予算も必要になってくるということになるかと思えます。そういう面ではまだ県とはそういう話はしていませんが、もし県のほうもそういうことをしてもいいよということであればこれは可能だと思いますが、今のところ町としては難しいかなと考えているところでもありますので、いったん県にも相談をさせていただいて、可能であればこれはできるかも分かりません。

○議長（北尾 風馬君） 武智議員。

○議員（6番 武智 玲穂奈君） ぜひ前向きに検討してみてください。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 県のほうにちょっとお話をしてみたいなと思えます。

○議員（6番 武智 玲穂奈君） 以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、武智議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 7番、深田健太議員。

○議員（7番 深田 健太君） 7番、深田健太です。僕は3項目について町長に質問します。

はじめに、北栄町の観光スポットをふやしてはどうでしょうか。

北栄町と言えば、コナンとスイカというイメージがとても強いと思います。しかし、コナンとスイカは大栄地区にあり、北条地区には前面に出た観光スポットがないように思います。なので、名産品のラッキョウを用いたイベントや施設、ラッキョウをリメイクした新たな商品開発に力を入れ、北条地区の活性化を図ってはどうでしょうか。

次に、コナンとラッキョウをコラボさせた商品をつくってはどうでしょうか。

大栄地区のコナンと北条地区のラッキョウをコラボさせた、缶バッジのような商品をつくってはどうでしょうか。

最後に、人が集まる祭りをつくってはどうでしょうか。

北栄町の祭りには「北栄砂丘まつり」があります。私も2年前に行きましたが、砂丘まつりの花火大会はとても盛り上がり、観覧客もとても多かったです。

しかし、北栄町のシンボリック的存在のコナンとスイカ、ラッキョウを掲げた、ゴールデンウイ

ーク中にコナン通りを歩行者天国にしてパレードやコンサートを行うような、新たな祭りを開催してみてもどうでしょうか。以上で終わります。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 深田議員のご質問にお答えいたします。

北栄町の観光スポットをふやしてはについてのご質問でございます。

北条地区には観光スポットが少ないので、名産品のラッキョウを用いたイベントや施設、ラッキョウをリメイクした新たな商品開発に力を入れ、北条地区の活性化を図ってはどうかのご質問でございます。例年、ラッキョウの花が咲く11月上旬ごろになると、花をご覧になりたいとの問い合わせが役場にも数件あり一つの観光スポットとなりますが、生産されている畑での鑑賞となり多くの観光客が訪れますと農家の方にご迷惑となることから大きなPR等は行っていないところであります。ラッキョウを活用したイベントや施設ということでございますが、ラッキョウ単体の魅力を発信し観光スポットとなるほど観光客を誘客することはかなりハードルが高いように思います。

また、ラッキョウを活用した新たな商品の開発については、町が商品をつくるということではなく、これまでもラッキョウを活用した加工品の開発を行われた方への支援を行っているところであります。これからも新たな商品開発に意欲がある事業者、個人がありましたら支援していきたいと考えております。

北条地区の活性化につきましては、現在、道の駅北条公園の再整備に取り組んでおり、基本コンセプトを「地域に愛され北条砂丘の魅力に満ちた交流拠点」、整備テーマを「砂丘のめぐみ」として進めているところであります。深田議員にご提案いただいているラッキョウを活用した活性化につきましては、道の駅再整備の基本コンセプト、整備テーマとも合致いたしますので、北条砂丘で生産されるブドウ、ナガイモといった他の特産品とともに魅力を発信し、道路利用者の休憩の場だけではなく、目的地となる観光スポットとして整備していきたいと考えております。

次に、コナンとラッキョウをコラボさせた商品をつくってはどうかについてのご質問です。

名探偵コナンに限らずマンガ・アニメ、音楽などは著作物として知的財産権の一つである著作権という権利がありますので、権利を持っている人や会社の許可なく使用することはできません。深田議員ご提案の名探偵コナンとコラボした商品をつくりたいと考えた場合、名探偵コナンの著作権を管理している会社の許可を得た上で実施する必要があります。つまり、著作権を管理している会社と協議し、契約を結ぶこととなります。また、著作権を使用する際には、著作権料という使用料を契約で定められた額支払う必要があります。名探偵コナンとラッキョウをコラボさせた商品をつくる場合、通常の商品の製造費用のほかに著作権料が上乗せされますので、商品の製造費用は高くなり、利益を得るためには単価を高く設定するか通常より販売量をふやす必要があります。

いずれにいたしましても、こうしたハードルをご承知いただいた上で商品開発に取り組まれる方がございましたら、北栄町まんが・アニメ関連商品開発支援事業などにより支援していきたいと考えております。

次に、人が集まる祭りをについてのご質問でございます。

北栄町のシンボリック存在のコナンとスイカ、ラッキョウを掲げた新たな祭りを開催してはど

うかということで、祭りを開催することにより大人気のコナンと町の特産品をあわせてPRすることができ、人が集まり町の活性化につながるという意味でのご提案であると思います。

すでに、議員仰せのとおり「北栄砂丘まつり」などがあるため、新たな祭りを開催することは難しいと考えているところでございますが、さまざまなイベントに名探偵コナンを活用してPRや集客を行っております。

毎年6月には「すいか・ながいも健康マラソン大会」を開催し、毎回、参加者だけでも5,000人近くのランナーが全国から参加する大会となっております。参加者には名探偵コナンのイラスト入り記念Tシャツを参加賞として配布しており、このTシャツ欲しさに参加される方もおられます。あわせて、参加者に振る舞う特産品の大栄西瓜の食べ放題と、ナガイモ入りのとろろ汁も大変喜ばれており特産品のPRにもつながっております。

10月に開催された「北栄わいわいフェスタ」では、コナン君とじゃんけん大会や撮影会に加え、町出身のアーティストのステージイベントや、町の特産品や加工品の販売なども行われ、名探偵コナンと一体となったイベントが行われました。また、町内事業者による職業体験やものづくり・匠ブースも設けられ、参加者の方に楽しんでいただきました。

また、県外で開催されるイベントに参加する際にも「コナンに会えるまち 北栄町」の観光PRと、大栄西瓜・ブドウ・ラッキョウなど北栄町の農産物の販売とPRを行っているところであります。

このように、コナンと特産品が一体となったイベントや販売促進を行っております。今後も、名探偵コナンと特産品が一体となったPRや集客に、相乗効果が上がるように意識してイベントなど企画してまいりたいと考えております。

○議長（北尾 風馬君） 深田議員。

○議員（7番 深田 健太君） 人が集まる祭りをつくってはどうかの回答に、再質問をさせていただきます。

新たな祭りをするのは難しいという回答でしたが、砂丘まつりの中でパレードなどをすることではできないでしょうか。ご検討お願いします。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） この「北栄砂丘まつり」は、一般の方に集まっていただいて実行委員会形式でしていただいております。役場の役割は、案内をしたりとかそういう裏方的なことを役場の職員がしておるわけでありまして。そういう提案があったということを実行委員会の方にお話して、もしそういうことができるということであれば、砂丘まつりの中に取り入れていただけるものところ思っておりますが、まず、実行委員会にお話をさせていただきたいと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 深田議員。

○議員（7番 深田 健太君） 以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、深田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 8番、中口達哉議員。

○議員（8番 中口 達哉君） 8番、中口達哉です。僕は、県内で北栄町の魅力や農業などの仕事のPRについて町長に質問します。

地域の宣伝PR活動は、県外、全国に向けて行われるのが通常ですが、まずは鳥取県内の人たちに、北栄町の魅力や農業などの仕事を知ってもらうことが第一歩になるのではないかと考えます。県内で広まることで、段階的に隣の県、中国地方、西日本、全国と広がっていくのではないのでしょうか。北栄町への移住は、県外からだけではなく、県内の移住も十分考えられると思います。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 中口議員のご質問にお答えいたします。

県内で北栄町の魅力や農業などの仕事のPRについてのご質問です。

町の魅力発信は、議員仰せのとおり県内、県外を問わず行うべきだと考えております。井上議員の答弁でも申し上げましたが、北栄町ではSNSを活用し町の自然、食べ物、観光、産業、イベントなど積極的に情報発信を行ってきております。このSNSでの情報発信は、高校生の皆さんもご承知のとおり、県内に限らず全国にも発信されております。町のフェイスブックのフォロワーは1月14日現在ですが3,796件で、ツイッターは1,933件でございます。

特に農業では特産品の大栄西瓜、ブドウ、ナガイモ、ラッキョウなど、生産現場の様子や農産物の査定会、初出荷など、時期を捉えた情報発信を行ってきております。

仕事の情報発信としては、毎年、町の企業ガイドブックを作成しており、町内の企業を紹介しております。2020年版では36の企業や事業所の紹介をし、町の成人式で新成人に配布しております。

移住を検討されている方へのPRにつきましては、東京や大阪の都市部で行われている移住相談会に参加しております。そこで職員が、移住を考えている方へ北栄町の観光や農業についての魅力を伝え、移住関係の補助事業だけではなく、北栄町の農業や子育てなどの取り組み、農業を始めたい方への支援や北栄町内で働く場所、引っ越し費用などの補助について紹介し、移住促進を図っているところであります。また、移住者に向けた北栄町PR動画を昨年度作成いたしました。SNS、移住相談会等、県内外の方に向けて町の魅力を幅広くPRしているところであります。

いずれにいたしましても、町の魅力発信は重要な事項ですので、県外、県内問わず北栄町の魅力を発信し、北栄町に興味を持っていただいたり、移住していただけるよう努めていきたいと考えております。

○議長（北尾 風馬君） 中口議員。

○議員（8番 中口 達哉君） 町の特産品PRについて伺います。

農業の魅力をアピールするために、特産品の無料試食会や料理教室などのイベントを多くの人が集まるショッピングモールや道の駅で行うのはどうでしょうか。また、その会場にそれぞれの特産品について語る人を招待するのはどうでしょうか。その人たちのトークは、消費者にとって魅力的な付加価値を与えたいと思います。町長の考えを伺います。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） まず第一に、一番北栄町で有名な特産物と言えば大栄西瓜であります。この大栄西瓜につきましては、大栄西瓜組合協議会の皆さんが毎週のように各スーパー等

に行って試食宣伝をしておられます。私も年に1回、6月の初めに大阪の千里のほうに行って試食販売をしております。大変好評でございまして、食べて「おいしいなあ」ということで購入していただく、そしてファンになっていただく、そしてまた次の年も行くとまたそこで買っていただけるということで、かなり浸透してきております。そういう地道な努力が重なって今の大栄西瓜のブランドということになっているのだらうと思っております。

またブドウにつきましても、毎年西宮のほうに行って試食販売をさせていただいておりますが、生産者の方もいろいろなところに行ってそうやって試食販売をされているというようなことであります。

それから料理教室等は、実際には今こちらに帰っておられるカノウユミコさんという料理の専門の方がおられるわけですが、ああいう方がTCCを通して北栄町の食材を使って料理の仕方等も流されておりますし、また、SNS等で北栄町の食材を使ったレシピ等も発信をしているというようなことでございまして、大分そういうメディアを使っての特産品のPRも進んできたかなと思うところであります。また、やっぱりそうやって味を覚えていただく、そして知っていただくということが大切ですので、より一層これからも努力していきたいなと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 中口議員。

○議員（8番 中口 達哉君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、中口議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 9番、千石顕正議員。

○議員（9番 千石 顕正君） 9番、千石顕正です。お見合い企画のような番組に応募してみてもはを町長にお伺いします。

僕たちのグループは、自分たちの手で、町の皆様にご協力いただきながら結婚式を挙げるなど、結婚をテーマに学習してきました。そこで、テレビ番組の「ナイナイのお見合い大作戦！」のようなものに応募し、北栄町で行ってみてもらってはどうか。青山剛昌ふるさと館、北条オートキャンプ場、レークサイド大栄などを会場にすれば、北栄町をPRすることもできさらなる観光客の集客にもつながるのではないのでしょうか。以上で終わります。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 千石議員のご質問にお答えいたします。

お見合い企画のようなテレビ番組に応募してみてもはについてのご質問でございます。

議員ご提案のテレビ番組では、多くのカップルが成立しており成果が期待できるものと思います。また、町の観光施設で行うことによりPRにもなり、観光客の集客にもつながることが想定されます。この番組を放送しているテレビ局に開催にかかる費用を伺いましたが、開催する市町村によって費用は変わってくるということでありました。また以前、この番組を実施したことのある町の費用を伺うことができ、約450万円かかったそうでございます。本町では、そこまでの費用をかけて対応することが妥当かどうか等、今後の研究、検討が必要かと考えております。



現在、本町が行っております婚活事業は、平成 28 年度から鳥取中部ふるさと広域連合と倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町が連携して実施しております。今年度の具体的な内容としては、「恋してハロウィンパーティー」や「大山サンセットパーティー」「クリスマススイーツパーティー」などの交流会や、独身者向けの魅力アップセミナーを開催しております。成果といたしましては、平成 28 年度以降の 4 年間でカップリング数は 71 組となっておりますが、このうち 1 組、昨年結婚されたと伺っております。今後も、中部で連携して婚活事業に取り組んでまいりたいと思います。

次に、結婚式を北栄町の観光施設で行ってもらうことで定住につながるのではないかとのご提案でございます。北栄町の観光施設につきましては、結婚式を想定した施設とはなっておりませんが、結婚式の形式はさまざまでございますので、北栄町の観光施設で結婚式を挙げたいとのご相談がありましたら前向きに相談に応じたいと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 千石議員。

○議員（9 番 千石 顕正君） 町が企画するお見合い企画について再質問します。

町が企画しているお見合い企画、先ほど聞きましたが、それを SNS に投稿し、地元のテレビ局に取材を申し込んでみてはどうでしょうか。検討をお願いします。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 大変おもしろい提案かなと思います。ただ、テレビに出演される方は、ある程度テレビに出てもいいよということで承諾を受けた方が出ておられます。中部全域で行っているものについてはそういう承諾もございませんし、そういうプライバシーの問題ということもありますのでなかなか難しいかなとこう思っているところであります。なかなかいい提案ではあるかなと思いますけども、そういう面で難しいかなと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 千石議員。

○議員（9 番 千石 顕正君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、千石議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 10 番、谷田百々花議員。

○議員（10 番 谷田 百々花君） 10 番、谷田百々花です。

駅から青山剛昌ふるさと館へ行く途中の空き店舗を、所有者から町が借り受けて、町の費用で土産店とか飲食店に特化して改修してはどうでしょうか。

表は白くし、中は柱、壁等、材木を貼り直した状態にし、その空間をホームページに載せ貸し出します。その改修費用を町が出すのはどうでしょうか。出店希望の人に 1 年間格安で貸し出し、軌道に乗れば町が間に入り格安で入居者が購入、もしくは借り受けできるようにしてはどうでしょうか。その後は、借りた人あるいは購入した人が内・外を自分でアレンジし店をつくれます。この場合、町の工務店を斡旋し設計施工を任せます。そうすることでコナン通りもにぎやかになり、町の業者も潤うと思うのですがどうでしょうか。以上で終わります。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 谷田議員のご質問にお答えいたします。

空き店舗の再利用についてのご質問でございます。

まずはじめに、コナン通り周辺の空き店舗を町が改修して貸し出すのはどうかとのご質問でございます。

議員ご承知のとおり、本町におけるコナンのまちづくりの取り組みにより、コナン通りを訪れる観光客は年々増加しており、平成30年度の青山剛昌ふるさと館の入館者数は年間16万人を超えにぎわいが増しているところでもあります。このにぎわいを生かして、意欲のある方の創業の機運がさらに高まるとともに、コナン通りを訪れる観光客の皆さんにとっても買い物や食を楽しむことができる店舗が出店されることは、観光地として満足度を高める大きな要素だと考えているところでもあります。

空き店舗の活用を考えた場合、まず空き店舗所有者の同意が得られることが前提であります。また、コナン通り周辺の空き店舗は、店舗として活用は行われていない場合でも、その多くは所有者の住居を兼ねている場合が多く、住居の一部である空き店舗部分を他者に貸し出すことについて理解を得られなければならないということがあります。

その中で、来年度、町の商工会と連携して由良宿周辺の空き店舗について調査を行い、所有者の同意が得られ、貸し出しが可能な物件情報を集約した（仮称）「空き店舗バンク」を整備してホームページ等で広くPRするほか、創業・出店を目指す方と所有者との橋渡しをスピーディーに行えるよう取り組みを進めたいと考えております。

また、空き店舗の改修にあたっては、空き店舗を借り受けて創業・出店する方への支援策として、本町独自の由良宿まちづくり活性化支援事業を設けております。この支援制度は由良宿周辺で新たに創業する方または出店する方を対象に、店舗改修費の2分の1、上限100万円を支援するほか、ホームページの開設など出店に係るPR費の2分の1、上限50万円を支援するもので、費用負担を軽減することで出店の機運を後押しし、コナン通り周辺地域のにぎわいを創出していきたいと考えております。なお、出店した後事業が軌道に乗った際には、将来にわたって継続的な店舗運営を行う上で物件の取り扱いについて、店舗所有者と創業者の間で話をいただければと考えているところでもあります。

次に、店舗改修にあたって町内の工務店を斡旋することで、町内事業者も潤うのではないかとのご提案についてですが、先ほど答弁しました由良宿まちづくり活性化支援事業において、店舗改修を町内の工務店等に発注した場合に補助額を上限10万円加算することにしており、町内発注の機会を創出しているところでもあります。

本町といたしましては、コナンの集客を有効に生かしていくために従来から制度化している由良宿まちづくり活性化支援事業に加えて、来年度、新たに空き店舗バンクの取り組みを進めていきますが、議員ご提案の手法は、創業を目指す者にとってよりハードルが下がる有効な受け皿になり得ると考えますので、今後の取り組みを研究、検討してみたいと思います。

高校生の皆さんにおかれましても、将来、お店を出したい、自分で事業を創業してみたいということがありましたら、コナンの観光客であふれ、支援制度が充実している北栄町でぜひ創業していただきたいと考えております。

○議長（北尾 風馬君） 谷田議員。

○議員（10番 谷田 百々花君） 民泊の規制も緩くなったので、北栄町に滞在してもらえらるように使われなくなったアパートや保育園などの施設を、民泊できる施設にかえるのはどうでし

ようか。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 宿泊施設がなかなかなくて大変困っているところであります。先ほどの議員の質問にもありましたが、ホテル等つくってはどうかということがありました。現在、そういうような話をホテル業者さんのほうとお話をさせていただいております。それができるかどうかということはまだ分かりませんが、そういう話もさせていただいているところであります。

そういう中であって、民泊というようにお話があるわけではありますが、実は1つ、由良宿で昨年12月に民泊ができました。まだ1つでございますが、そういうのができましたのでこれに続いてできればということをおっしゃっているところであります。

またそのほかにも、由良宿ではないわけではありますが農家民泊というものもありまして、中学生や高校生の修学旅行生等もそこに宿泊していただいて、農業体験をしていただきながらコナンのほうにも行っていただくようなこともしておりますので、そういうものが活用できればと思います。

いずれにいたしましても、やはり滞在していただいてそこでいろいろ楽しんでいただくということも必要でございますので、今後そういうことも十分考えていきたいと思っております。

○議長（北尾 風馬君） 谷田議員。

○議員（10番 谷田 百々花君） これで質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、谷田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 12番、中原彩貴議員。

○議員（12番 中原 彩貴君） 11番、三谷佑奈議員の質問を代読します。結婚披露宴で地元食材を提供してはについて町長にお聞きします。

結婚披露宴における料理を、北栄町の農産物をふんだんに使った、地元食材にこだわったコース料理で提供してはみてはどうでしょうか。ここ北栄町にはおいしい食材がたくさんあります。地元の食材をいっぱい使った料理のフルコースを食べることで、地元への愛着が深まると思います。中部地区のホテル業界に提案してはみてはどうでしょうか。

また、こういった料理の一部を、商工会などと協力してふるさと納税の返礼品としてはどうでしょうか。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 三谷議員のご質問にお答えいたします。

結婚披露宴で地元食材を提供してはについてのご質問でございます。

はじめに、結婚披露宴に北栄町農産物を使ったコース料理を提供してはどうかのご質問でございますが、議員ご承知のとおり、農業のまちである本町には全国的に有名な大栄西瓜をはじめ、ナガイモ・ねばりっこ、ラッキョウ、ブロッコリーやブドウ、梨、柿、イチゴをはじめとした果物や野菜など地域の誇れる数多くの農産物が栽培されております。また畜産においても、全国和牛能力共進会で肉質日本一を受賞し、首都圏でもブランドとして認知され始めてい

る鳥取和牛も生産されており、人生の晴れの舞台である結婚披露宴で振る舞われるコース料理に自信を持って提供できる食材と考えております。

地元のホテル業界に提案してみてもはとのご提案をいただきましたので、早速地元のホテルに披露宴の料理について状況を確認したところ、すでに地産地消に力を入れておられ、各コースの前菜には共通のメニューとして県内地域の特産品を活用した一品を盛りつけ、披露宴で振る舞っておられるとのこと。コースの全メニューを北栄町産の特産物で振る舞うことにつきましても、お客様のオーダーがあれば幅広く対応できるとのことでございますので、将来、皆さんが結婚披露宴を催される場合は、北栄町の農産品を活用したコースメニューをオーダーしていただき、ふるさとの魅力を発信していただきたいと考えております。

次に、コース料理の一部をふるさと納税の返礼品にしてはどうかとのご提案でございます。

ふるさと納税の返礼品として活用するにあたっては、遠距離の配送にも対応可能な一定期間日持ちする加工・包装が可能な料理が対象となるかと考えております。また、コース料理の中でも本町農産品の魅力が特に凝縮された、ふるさと納税の返礼品としてPR効果の高い一品を選定し出品することで「農業のまち北栄町」をさらに発信できると考えております。そのような料理が実現した暁には、ふるさと納税の返礼品に出品することも、ぜひ取り組んでみたいと考えております。

○議長（北尾 風馬君） 中原議員。

○議員（12番 中原 彩貴君） 以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、三谷議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 12番、中原彩貴議員。

○議員（12番 中原 彩貴君） 12番、中原彩貴です。僕は、外国人観光客向けに太鼓披露、太鼓体験を行ってはについて教育長にお聞きします。

外国人観光客が北栄町に観光しに来るのは、コナン目当てが多いかと思えます。しかし、一般的に外国人観光客は日本文化に触れてみたいという気持ちがとても強くあると思えます。

そこで、青山剛昌ふるさと館前、米花商店街などで、日本の伝統的文化披露として黒ぼく太鼓、打吹太鼓を教える団体に協力をお願いし、太鼓演奏、太鼓体験を実施してはどうでしょうか。僕も太鼓演奏をしてみてもすごくおもしろく楽しかったので、外国人観光客の方々もですが、日本人観光客にも太鼓演奏、太鼓体験を勧めたいです。以上です。

○議長（北尾 風馬君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 中原議員のご質問にお答えいたします。

外国人観光客向けの太鼓披露、太鼓体験についてのご質問でございます。

北栄町を訪れる外国人観光客の方々が、日本文化に触れられる機会を提供することはとてもよいことだと思います。中原議員には太鼓披露、太鼓体験を通じた日本文化との触れ合いを提案していただいておりますが、北栄町では、長らく活動が停滞していた北条砂丘太鼓を昨年新たな形で復活させようとする取り組みが始まり、今年ようやくサークル化が始まろうとしています。また、大栄小学校児童による黒ぼく太鼓が行われていましたが、昨年ごろから活動が休止され

ております。このような状況のため、イベントなどの限られた機会に太鼓の披露や太鼓体験に取り組むことについては可能だと思っておりますので、検討してみたいと思っております。

地域探究で太鼓のよさを実感した皆さんのような若者が、今後も活動を続け実践者として太鼓披露、太鼓体験をしていただくことが何よりの力となります。ぜひ継続して取り組んでいただき、「一緒に取り組みましょう」と言っていただけの日を心待ちにしております。

○議長（北尾 風馬君） 中原議員。

○議員（12番 中原 彩貴君） ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○議長（北尾 風馬君） 以上で、中原議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北尾 風馬君） 以上をもって、本日の日程はすべて終了しました。

これにて、令和元年度北栄町高校生議会を閉会します。

午前 10 時 46 分閉会

---

高校生議長あいさつ

○議長（北尾 風馬君） とても緊張しましたが、皆さんのおかげでスムーズに進行することができました。どうもありがとうございました。

---

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員